

日タイ青少年交流事業



平成30年10月1日(月)、国立那須甲子青少年自然の家からの依頼で、タイの学生(中学生、高校生)との交流事業が行われました。本校で行っている授業と一緒にしてもらい、様々な活動体験に取り組んでもらいました。本校生徒の積極的なサポートのもと、タイの学生は、これまで行ったことのない活動に真剣に取り組み、日本の学校生活や文化、そして本校生徒の優しさを学びました。

1 歓迎セレモニー 9:40~10:10

セレモニーは、本校高等部生徒58名、タイ王国の学生15名が一堂に集まり、「サワディーカップ(こんにちは)」の挨拶から始まりました。

本校生徒は、校歌の披露の後、来校記念に作業製品をプレゼントしました。その後、プレゼントで贈った白河だるまのポチ袋の説明をしました。次に、タイの学生代表が日本語で挨拶をし、民族舞踊を披露してくれました。



2 作業学習(手工芸班、窯業班) 10:20~12:00

3、4校時は、手工芸班、窯業班の活動に参加しました。手工芸班では、本校生徒が丁寧にサポートしながら、紙すきと水切りの体験してもらいました。休憩時間では、タイの学生に好きな食べ物や趣味など積極的に質問していました。

また、窯業班では、タイの学生一人一人に本校生徒が付いて、お皿の型を利用した製品づくりを体験してもらいました。身振り手振りでしたが、作り方をしっかりと伝えられていました。

最後に、交流記念として、みんなの名前を寄せ書きしたプレートを作成しました。



3 給食 12:00~13:00

学校給食を味わってもらいました。「アロイ（おいしい）」と、みんなが好き嫌いなく、食べていました。タイの学生の箸の使い方が、とても上手でびっくりしました。



4 体育 13:00~13:50

5校時目は、体育と音楽に分かれて、学習に取り組みました。体育では、初めに全員でラジオ体操に取り組み、それからフライングディスクを行いました。本校では、10月6日（土）県特別支援学校スポーツ大会に向けて、練習に取り組んでいた活動です。しばらく練習した後、5投ずつ投げ合って、競いました。タイの学生も、本校生徒の上手な見本を見せられて、真剣でした。



4 音楽 13:00~13:50

太鼓を使った学習に取り組みました。全員がバチを待って、基本的なリズムうちの学習をしました。その後、手話を取り入れながら、「小さな世界」を全員で歌いました。



6 部活動（ボッチャ） 14:10~15:00

パラリンピック競技のボッチャを体験しました。8月のボッチャ世界選手権では、決勝でタイと日本が対戦していました。タイは世界の中で最強とされていますが、タイの学生たちは初めての経験となりました。時間が増すごとに「ゲンマーク（じょうず）」とお互いに大きな声で叫びながら、きわどい勝負に歓声が上がりました。

